

# 1 倉庫業の現況

## (1) 事業者数及び所管面（容）積

### (ア) 事業者数

管内の営業倉庫事業者数は第1表のとおりで、401社（前年度末比1.0%減）である。

第1表 倉庫事業者数（平成28年度末）

普通倉庫

冷蔵倉庫

区分	主たる営業所		計	区分	主たる営業所		計
	管内	他局管内			管内	他局管内	
発券	29	30	59	発券	11	14	25
非発券	211	92	303	非発券	37	16	53
計	240	122	362	計	48	30	78

※1 普通倉庫（主たる営業所が管内）の発券事業者29社のうち1社及び非発券事業者211社のうち3社は、管内に倉庫を有しない。

※2 普通倉庫と冷蔵倉庫の兼業は39社。

### (イ) 所管面（容）積

倉庫事業者が管内に保有する倉庫の所管面（容）積の推移は、第2表のとおりである。管内における倉庫は神戸市及びその周辺都市に集中しており、中でも神戸市内には、所管面（容）積ベースで、普通倉庫では一～三類倉庫の57.2%、危険品倉庫（タンク）の100%、野積倉庫の79.6%、貯蔵槽倉庫の92.1%、冷蔵倉庫の67.8%が立地している。

第2表 倉庫所管面（容）積の推移

（各年度末現在）

区分	種類別	年度					対前年度比 (%)		
		24	25	26	27	28			
管内	普通倉庫	一類倉庫 (㎡)	2,650,571	2,745,353	2,876,579	3,029,423	3,086,862	101.9	
		うち 認定トラックルーム (㎡)	81,138	82,343	82,343	76,004	78,258	103.0	
		二類倉庫 (㎡)	3,166	3,166	3,166	3,166	3,166	100.0	
		三類倉庫 (㎡)	52,436	53,914	66,059	66,336	66,331	100.0	
		小計 (㎡)	2,706,173	2,802,433	2,945,804	3,098,925	3,156,359	101.9	
		危険品 倉庫	タンク (m <sup>3</sup> )	147,589	147,589	147,636	147,636	147,556	99.9
		その他 (㎡)	53,604	55,096	55,353	56,241	56,979	101.3	
		野積倉庫 (㎡)	426,575	426,316	426,088	428,109	430,071	100.5	
		貯蔵槽倉庫 (m <sup>3</sup> )	912,401	910,496	935,954	935,954	892,894	95.4	
		水面倉庫 (㎡)	0	0	0	0	0	—	
		冷蔵倉庫 (m <sup>3</sup> )	2,217,612	2,230,260	2,389,396	2,405,910	2,405,264	100.0	
神戸市内	普通倉庫	一類倉庫 (㎡)	1,487,446	1,561,340	1,629,701	1,718,196	1,766,506	102.8	
		うち 認定トラックルーム (㎡)	64,725	66,152	66,152	61,587	61,587	100.0	
		二類倉庫 (㎡)	0	0	0	0	0	—	
		三類倉庫 (㎡)	0	0	0	277	272	98.2	
		小計 (㎡)	1,487,446	1,561,340	1,629,701	1,718,473	1,766,778	102.8	
		危険品 倉庫	タンク (m <sup>3</sup> )	147,589	147,589	147,636	147,636	147,556	99.9
		その他 (㎡)	17,186	16,785	16,892	16,892	17,667	104.6	
		野積倉庫 (㎡)	339,685	339,685	339,727	339,277	342,235	100.9	
		貯蔵槽倉庫 (m <sup>3</sup> )	845,850	839,945	865,403	865,403	822,343	95.0	
		水面倉庫 (㎡)	0	0	0	0	0	—	
		冷蔵倉庫 (m <sup>3</sup> )	1,475,877	1,481,640	1,629,244	1,620,880	1,631,615	100.7	

## (2) 倉庫需要

管内普通倉庫及び冷蔵倉庫の受寄物入庫量、平均月末在庫量は、第3表及び第4表のとおりで、管内一～三類倉庫及び冷蔵倉庫の入庫量、平均月末在庫量の推移は、第1図のとおりである。

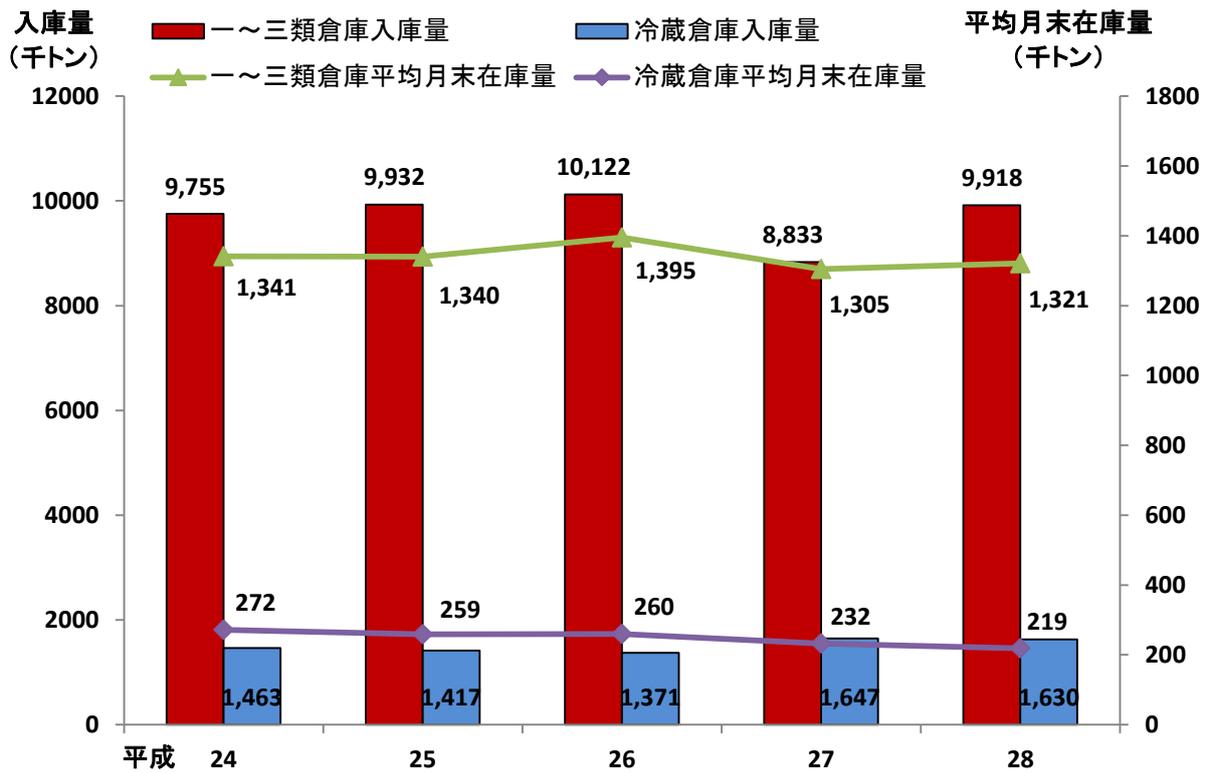
第3表 管内普通倉庫の受寄物入庫量、平均月末在庫量（平成28年度）

種類別 品目	一～三類倉庫		危険品倉庫		野積倉庫		貯蔵槽倉庫		普通倉庫計	
	入庫量 (千トン)	平均月末 在庫量 (千トン)								
農水産品	717	256	0	0	0	0	2,031	311	2,748	567
金属	1,083	119	0	0	711	51	0	0	1,794	170
金属製品・機械	905	85	20	1	640	16	0	0	1,565	102
窯業品	75	16	1	0	0	0	0	0	76	16
化学工業品	1,803	209	576	69	1	0	11	1	2,391	280
紙・パルプ	756	70	0	0	0	0	0	0	756	70
繊維工業品	190	33	0	0	1	0	0	0	191	33
食料工業品	2,653	272	0	0	0	0	0	0	2,653	272
雑工業品	818	138	0	0	4	0	0	0	822	138
雑品	919	123	3	1	1	0	15	3	939	127
平成28年度計	9,918	1,321	601	71	1,358	68	2,057	315	13,934	1,775
対前年度比(%)	112.3	101.2	122.6	112.8	99.7	107.1	107.2	102.5	110.6	102.1
平成27年度計	8,833	1,305	490	63	1,361	63	1,920	308	12,603	1,739

第4表 管内冷蔵倉庫の受寄物入庫量、平均月末在庫量（平成28年度）

品目	項目	入庫量 (千トン)	平均月末在庫量 (千トン)
生鮮水産物		0	0
冷凍水産物		165	33
塩干水産物		38	10
水産加工品		30	6
畜産物		150	27
畜産加工品		152	28
農産物		226	44
農産加工品		50	10
冷凍食品		686	45
その他		134	16
平成28年度計		1,630	219
対前年度比(%)		99.0	94.2
平成27年度計		1,647	232

第1図 管内一～三類倉庫及び冷蔵倉庫の入庫量、平均月末在庫量の推移



### (3) 倉庫管理主任者スキルアップセミナー

倉庫管理主任者制度の一層の充実と倉庫管理主任者の更なる資質の向上を図ることを目的として、平成29年2月20日に、倉庫管理主任者を対象とした「倉庫管理主任者スキルアップセミナー」を開催し、65名の参加を得た。

セミナーでは、「熊本地震における支援物資物流の状況と課題」をテーマとした講演を行い、喫緊の課題である災害物流の実事例を学んで見識を深めたのち、倉庫業法の手続きについて講義を行い、倉庫業の適正な運営の確保について理解を深めた。

